

【本格運行の目標（評価基準）】

- 1年間の公費負担率(※1)：公費負担率が85%未満(※2)⇒74.9%(12月末時点) **達成見込み**
 - ※1 公費負担率＝(運行経費－運賃収入等)÷運行経費(初期導入費を含まない経常経費)×100
 - ※2 市民アンケート調査等を基に、本計画で試算した結果
- 1便当たり平均利用者数：2.7人 ⇒ 5.3人(12月末時点) **達成見込み**
 - ※1 1便当たり平均利用者数目標値135人÷49便(4ルート合計)＝2.76人/便
 - ※2 モニタリング便を除く

1 コース別月別利用者数（総括）

- 令和元年10月実績を以て延利用者数は56,840人となり、目標の48,465人を5ヶ月前倒しで達成した。
- 令和元年度12月末時点までの9ヶ月間の延利用者数は73,241人で、1便平均利用者数は5.3人(モニタリング便除く)となり目標の2.7人を達成する見込みである。なお、8月が6.01人とピークとなっている。
- 前年同期(平成30年4月～12月)の延利用者数は66,172人であったため、前年同期比約110%となっている。
- コース別に見ると、A・Bコース、Cコースの東原先回りで目標の1便平均利用者数の2.7人を達成しており、Cコース旭住宅先回り、Dコースで目標未達成となっている。

2 コース別ダイヤ別利用者数

- Aコースは各ダイヤとも万遍なく利用され、8人/便以上が多くなっている。
- Bコースは新駒林先回りが水宮先回りと比べ利用が多くなっている。
- Cコースは午前中の利用は多く、午後は比較的少なくなっている。
- Dコースは目標未達成であるが、前年と比べ利用者が増えている。
- モニタリング便は5便全て目標の1便平均利用者数2.7人について、未達成となっているが、前年に比べ利用者が増えている。